

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	13-1
PDCA	主要事業名	就農者支援事業	部課名	市民経済部 産業課	担当	花田	
					内線	316	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 1 - 3 単位施策： 農業						
	全体事業期間： 令和 3 年度 ~ 3 年度 全体事業費等： 12,000 千円						
	会計 一般会計 歳出科目：05.01.03.02.51						
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： 13,500 千円						
	事業概要等	事業概要： 経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して、農業次世代人材投資事業補助金を交付する。					
		事業目的： 新規就農者に対して、資金を交付することにより、就農後の定着を図り、青年就農者の増加を図る。					
		事業内容： 新規就農者に対して、農業次世代人材投資事業補助金を交付する。					
		問題点・課題等： 将来の担い手となれる人材を引き続き育成していく必要がある。					
	予算額	主要事業とする理由					
	12,000 千円	農業従事者の高齢化が急速に進展するなか、持続可能な農業を実現するには、青年等の新規就農を増加させる必要があるため。					
財源内訳	得られる成果						
市費	経営開始直後の新規就農者に対して資金を交付することにより、早期の経営発展と定着を図る。						
0 千円	目標値や目指すべき状態						
国費	令和元年度 令和2年度 令和3年度 単位						
0 千円	認定新規就農者認定数 実績値 1 2 — 人						
県費	目標値 1 1 2 人						
12,000 千円	実績値 目標値 目標値 目標値						
その他	実績値 目標値 目標値 目標値						
0 千円	実績値 目標値 目標値 目標値						
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果					
	11,625 千円	経営開始直後の新規就農者に対して資金を交付することにより、早期の経営発展と定着を図ることができた。					
		成果指標					
		令和3年度 単位					
		認定新規就農者認定数 実績値 2 人					
		目標値 2 人					
C 課題の整理	事業の評価・課題	B					
		県やJA等の関係機関と連携を図り、認定新規就農者を2名確保した。また、新規就農者の農業経営を支援するための農業次世代人材投資事業補助金を新たに2名に交付し、合計8名に補助金交付や就農状況確認を行い、就農後の定着を図った。（離農者0名）また、農業大学校を訪問し、半田市独自の就農者向けパンフレットの配布及び半田市で就農する魅力についてPRを行った。					
A 今後の課題の解決に向けた方向性	今後の事業の方向性	拡充推進					
		引き続き、県やJA等の関係機関と連携を図り、新規就農者の確保へ繋げていく。また、新規就農者向けパンフレットを活用し、農業大学校等にて半田市で就農する魅力についてPRを行う。さらに、就農後も将来の担い手に繋がるように、新規就農者育成総合対策事業を活用し資金面での支援を行い、離農者0名を目指す。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 中程度	⑦コスト ない	削減余地 ※対象・手段の変更		
②市民ニーズ 低い		⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地	ない			
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない					